

## 助動詞「まほし・たし」確認テスト（希望） 解答・解説

### ■ 解答・解説

- 問1 ア（希望）。「まほし」は「～てほしい・～たい」という願望を表す助動詞です。「あらまほし」は「あってほしい・いてほしい」の意味になります。
- 問2 「ちょっとしたことであっても、案内してくれる先導者（指導者）はいてほしいものだ。」（＝何事につけても、導いてくれる人はあってほしいものだ。）
- 問3 （例）他者への希望に近い。「先達（案内してくれる人）」という自分以外の人が「いてほしい」と願っているので、自己の動作ではなく他者の存在を望む願望になっています。（「まほし」「たし」は基本は自己の希望ですが、このように「～てほしい」と他への願望を表すこともあります。）
- 問4 「まほし」は動詞の未然形に接続します。例文②「見まほし」の「見」は、上一段動詞「見る」の未然形「見」です。
- 問5 「（できることなら）深い山の奥にこそ、心静かに住みたいものだ。」「こそ～まほしけれ」の係り結びで、強調されています。
- 問6 もとの形＝ア（まほしく）。音の変化＝ウ音便。連用形「まほしく」の「く」がウ音便化して「まほしう」となりました（形容詞・形容詞型の助動詞によく起こります）。
- 問7 「しみじみと心を通わせて『あはれ』と言い合えるような人も、いてほしい世の中であるよ。」（情趣を解する相手があってほしい、という願いです。）
- 問8 未然形。「まほし」（シク活用型）の未然形は「まほしく／まほしから」で、打消「ず」が付くときは「まほしから＋ず」となります。「散らまほしからず」で「散ってほしくない」の意です。
- 問9 ア（希望）。「たし」も「～たい」という願望の助動詞です。「乗りたし」で「乗りたい」となります。
- 問10 「たし」は動詞の連用形に接続します。例文⑧「乗りたし」の「乗り」は、四段動詞「乗る」の連用形「乗り」です。
- 問11 「もう一杯、この酒を飲みたいものだなあ。」「一献（いっこん）」は「一杯（の酒）」、「～ものかな」は詠嘆で「～ものだなあ」と訳します。
- 問12 ア（自己の希望）。「帰りたし」で「（私は）帰りたい」と、話し手自身の願いを表しています。
- 問13 「私は故郷へ帰りたい。けれども世の中のしがらみが多くて、帰ることができない。」「え～ず」で「～できない」の意です。
- 問14 ③＝（深い山の奥に）心静かに住みたい、という希望。⑤＝しみじみと心を交わせる（情けを語り合える）人があってほしい、という希望。どちらも話し手自身の願いです。
- 問15 ①「あらまほしき」＝連体形（下に体言「事」が続く）。③「住ままほしけれ」＝已然形（係助詞「こそ」の結びで已然形）。⑦「逢はまほしき」＝連体形（下に体言「こと」が続く）。「まほし」はシク活用型で「（まほしく）・まほしく・まほし・まほしき・まほしけれ・○」と活用します。

問16 ⑨「たく」＝連用形（下に動詞「おぼゆ」が続く）。⑩「たき」＝連体形（下に体言「もの」が続く）。⑪「たけれ」＝已然形（下に接続助詞「ど」が続く）。「たし」はク活用型で「(たく)・たく・たし・たき・たけれ・〇」と活用します。

---

問17 イ（シク活用型）。「まほし」は「まほしく・まほしき・まほしけれ」と、形容詞のシク活用と同じ型で活用します。

---

問18 ア（ク活用型）。「たし」は「たく・たき・たけれ」と、形容詞のク活用と同じ型で活用します。

---

問19 (1) 未然形（「住む」の未然形「住ま」＋未然形接続の「まほし」）。(2) 連用形（「乗る」の連用形「乗り」＋連用形接続の「たし」）。接続のちがいが、「まほし」と「たし」を見分ける決め手になります。

---

問20（例）接続…「まほし」は未然形に接続し、「たし」は連用形に接続する。時代・文体…「まほし」は古く優美な文章で用いられ、「たし」は後の時代の口語的な文章で多く用いられる。（意味はどちらも「～たい・～てほしい」でほぼ同じです。）

---

問21 已然形＝⑪（見たけれど）。手がかり…下に接続助詞「ど（～けれど）」が続いているので已然形だと判断できます。⑩「たき」は下に体言「もの」が続くので連体形、⑨「たく」は下に動詞「おぼゆ」が続くので連用形です。

---

問22 「あらまほし」＝ラ変動詞「あり」の未然形「あら」＋希望の助動詞「まほし」。つまり「あつてほしい・あるのが望ましい」が原義で、そこから「理想的だ・好ましい」の意味（現代語「あらまほしい」）に広がりました。

---

問23 (1) たし（「見たし」＝見たい）。「たし」は連用形「見」に付き、終止形は「たし」です。(2) まほし（「あらまほしき」＝いてほしい）。「まほし」は未然形「あら」に付き、連体形は「まほしき」です。

---